

別記様式第8号(別記1の第6の1、別記2の第5、別記3の第6関係)

鳥獣被害防止総合支援事業、鳥獣被害防止都道府県活動支援事業及び鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業の評価報告(平成29年度報告)

安来市鳥獣被害防止対策協議会

1 被害防止計画の作成数、特徴等

安来市鳥獣被害防止計画(平成26年度から平成28年度)

各種機関から構成される被害防止対策協議会にて実施体制を整備しながら、安来市猟友会駆除班による捕獲対策と安来市等による防除対策を推進し、効果的な被害防止体制の構築を図る。

2 事業効果の発現状況

広域での防除対策の実施、捕獲檻、くりわなどの捕獲機材の整備に加え、無線、GPS機器などの機材を整備することで、有害捕獲実施者の負担軽減にも努め、確実なイノシシ捕獲(H28:1199頭)を行い、農作物被害の減少に繋がっている。

3 被害防止計画の目標達成状況

被害金額目標達成率 96% 被害面積目標達成率 71%

H28において、主に果樹へのガラス被害面積が例年以上あったため、被害面積目標に対して実績が低調となっている。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績				事業実施主体の評価	第三者の意見	
										被害金額		被害面積				
										目標値	実績値	達成率	目標値			実績値
安来市鳥獣被害防止対策協議会	安来市全域	H26	イノシシ ヌートリア タヌキ キツネ アライグマ サル ガラス カワウ ウソ サギ類 ニホンジカ	講習会	狩猟免許取得事前講習会 参加者13名	安来市鳥獣被害防止対策協議会			狩猟免許取得者の増加、有害鳥獣捕獲の担い手の拡大を図るため、狩猟免許試験の事前講習会への受講費用の助成を行った。 広く広報を行ったことで、市内各所からの受講者があり、狩猟免許を取得に必要な知見を身につけ、参加者の中から新たに猟友会員となり、有害捕獲に参加する者も現れるなどの効果があった。	2,280千円	2,373千円	96%	2,800a	5,621a	71%	捕獲対策と防除対策を相乗的な展開により、イノシシの有害捕獲数や被害金額の推移から見れば、一定の事業効果は得られていると考える。その一方で、二百万円超の被害が依然としてあることも事実であり、防除と捕獲の両面での継続した対策実施は必須である。 有害鳥獣による被害量は、個体数の増減など対策以外の要因もあるが、当年に駆除や防護柵による対策を行った該当農地では確実に効果は得られている。しかしながら、その隣接農地などそれまで対策が不要であった農地が新たに被害を受けたり、設置柵の劣化などにより前年被害を受けなかった箇所が被害を受けるなどするため、防護柵による防除だけでは、被害額が減らない。 今後の捕獲対策の推進にあたり、高齢化や人口減少が加速する中山間地域において、生き物を扱う特殊性から、有害鳥獣捕獲を行う担い手の確保は一層困難になることが予想される。そうした中で如何にして狩猟免許者を拡大し、有害駆除の担い手を確保していくかが課題である。
			イノシシ ヌートリア タヌキ サル ニホンジカ	捕獲対策	箱フナ4基 くりわな 16セット	安来市鳥獣被害防止対策協議会	H27.1.6	100%	十分な捕獲機材を整備することで、確実な有害鳥獣捕獲を推進し、見通しが立てにくい鳥獣被害に対する駆除相談にも迅速に対応できるような環境体制を整備することができた。 併せて、有害鳥獣捕獲に必須となる機材を協議会が整備することで、駆除班員の個人負担の軽減し、有害鳥獣捕獲にかかる担い手の確保にも側面的な効果が得られている。							
			イノシシ ヌートリア タヌキ アライグマ	防除対策 講習会	ワイヤーメッシュ柵 22団体 17,608m わな設置講習会 参加者 20名	安来市鳥獣被害防止対策協議会	H27.1.15	100%	整備事業を活用し、主にイノシシ対策として市内22団体が受益面積50.3haにわたり防護柵の設置を行い、農地保全と防除対策を進めた。なお、平成27年度以降は、市単独補助金による防護柵設置支援を実施している。 狩猟免許の新規取得者などを対象として、安来市猟友会の駆除班員を講師にわな設置講習会を行い、有害駆除捕獲に関する知見と技術の取得を図った。							
		イノシシ	捕獲対策	緊急対策捕獲事業 イノシシ 成獣 74頭 幼獣 225頭 計 299頭	安来市			平成28年度に有害捕獲確認されたイノシシのうち299頭を緊急対策捕獲事業として交付し、有害鳥獣捕獲の確実な実施と有害捕獲者の負担軽減と捕獲意欲の維持を図った。(H26年度:イノシシの有害捕獲数 616頭)								
		イノシシ ヌートリア タヌキ キツネ アライグマ サル ガラス カワウ ウソ サギ類 ニホンジカ	講習会	狩猟免許取得事前講習会 参加者15名	安来市鳥獣被害防止対策協議会			狩猟免許取得者の増加、有害鳥獣捕獲の担い手の拡大を図るため、狩猟免許試験の事前講習会への受講費用の助成を行った。 広く広報を行ったことで、市内各所からの受講者があり、狩猟免許を取得に必要な知見を身につけ、参加者の中から新たに猟友会員となり、有害捕獲に参加する者も現れるなど、担い手確保に効果が得られている。								
		イノシシ ヌートリア タヌキ アライグマ ニホンジカ	捕獲対策 講習会	わなマーカー 35台 GPS猟犬端末 12台 GPS狩猟者端末 7台 わな設置講習会 参加者 20名	安来市鳥獣被害防止対策協議会	H28.2.26	100%	若者の有害鳥獣駆除への参画、有害鳥獣捕獲者の効率的な捕獲と負担を軽減するため、GPS機器等の先進的な捕獲機材の導入した。 狩猟免許の新規取得者などを対象として、安来市猟友会の駆除班員を講師にわな設置講習会を行い、有害駆除捕獲に関する知見と技術の取得を図った。								
		イノシシ	捕獲対策	緊急対策捕獲事業 イノシシ 成獣 251頭 幼獣 47頭 計 308頭	安来市鳥獣被害防止対策協議会			平成27年度に有害捕獲確認されたイノシシのうち308頭を緊急対策捕獲事業として交付し、有害鳥獣捕獲の確実な実施と有害捕獲者の負担軽減と捕獲意欲の維持を図った。(H27年度:イノシシの有害捕獲数 617頭)								
		イノシシ ヌートリア タヌキ キツネ アライグマ サル ガラス カワウ ウソ サギ類 ニホンジカ	講習会	狩猟免許取得事前講習会 参加者13名	安来市鳥獣被害防止対策協議会			狩猟免許取得者の増加、有害鳥獣捕獲の担い手の拡大を図るため、狩猟免許試験の事前講習会への受講費用の助成を行った。 広く広報を行ったことで、市内各所からの受講者があり、狩猟免許を取得に必要な知見を身につけ、参加者の中から新たに猟友会員となり、有害捕獲に参加する者も現れるなどの効果があった。								
		イノシシ ヌートリア タヌキ アライグマ	捕獲対策 講習会	わなマーカー 92台 無線機 30台 わな設置講習会 参加者 11名	安来市鳥獣被害防止対策協議会	H28.11.14	100%	若者の有害鳥獣駆除への参画、有害鳥獣捕獲者の効率的な捕獲と負担を軽減するため、わなマーカーと受信機を導入した。 狩猟免許の新規取得者などを対象として、安来市猟友会の駆除班員を講師にわな設置講習会を行い、有害駆除捕獲に関する知見と技術の取得を図った。								
		イノシシ	捕獲対策	緊急対策捕獲事業 イノシシ 成獣 258頭 幼獣 83頭 計 341頭	安来市鳥獣被害防止対策協議会			平成27年度に有害捕獲確認されたイノシシのうち341頭を緊急対策捕獲事業として交付し、有害鳥獣捕獲の確実な実施と有害捕獲者の負担軽減と捕獲意欲の維持を図った。(H28年度:イノシシの有害捕獲数 1,199頭)								

注1:被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。

2:都道府県が事業実施主体となる鳥獣被害防止都道府県活動支援事業を実施した場合、その事業内容等も記載すること。

3:事業効果は記載例を参考とし、獣種等ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。

4:「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。